

【 問題 1 / 会計法務 】 各 5 点×5 題 25 点 (15 分)

1. (c)                    2. (a)                    3. (b)                    4. (b)                    5. (c)

1. 一般原則には、①（正規の簿記の原則）、真実性の原則、資本取引・損益取引区分の原則、明瞭性の原則、継続性の原則、保守主義の原則、単一性の原則がある。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.117

2. 株主総会は、株主によって構成される株式会社の最高の意思決定機関である。会社の組織・運営・管理その他の会社の基本的事項について決定する権限を有している。ただし、②（取締役会設置会社）については、株主総会で決議できる事項は、会社法及び定款に定められた株式会社の基本事項のみに限られている。（会社法 295 条）

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.124

3. ③（企業会計原則）は、企業会計の実務の中に慣習として発達したものの中から、一般に公正妥当と認められたところを要約したものであり、必ずしも法令によって強制されなくとも、すべての企業がその会計を処理するにあたって従わなければならない慣習規範である。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.117

4. 株式会社には、1 人又は 2 人以上の、④（取締役）を置く必要がある。④（取締役）は、定款に別段の定めがある場合を除き、株式会社の業務を執行し、対外的に会社を代表する。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.126

5. 金融商品取引法では、上場会社等の有価証券報告書等の開示書類を金融庁に提出している会社に対し、有価証券報告書と併せて確認書および、⑤（内部統制報告書）等を内閣総理大臣（実際には金融庁に）に提出することが義務付けられている。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.152

【 問題 2 / ファイナンス法務 】 各 5 点×5 題 25 点 (15 分)

1. (c)            2. (d)            3. (d)            4. (e)            5. (d)

1. 相続とは、人が死亡したときに、その人が所持していた財産を相続人が取得することであり、死亡した人の財産を相続人が引き継ぐことをいう。被相続人の財産を引き継ぐことができる者を法定相続人という。原則として被相続人の、①（配偶者）は常に相続人となる。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.231

2. 「(②有価証券)」とは、証券・証書が発行されている権利（金融商品取引法 2 条 1 項）のことであり、国債証券、地方債証券、社債券、特殊法人に対する出資証券、株券・新株予約権、投資信託の受益証券、投資法人の投資証券・投資法人債券、信託の受益証券、コマーシャル・ペーパー（CP）、外国（株式等の）証券・証書、オプション証券・証書等が該当する。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.240

3. (③瑕疵)とは、ある物が通常有する品質、性状、機能、または当事者が表示した特殊の品質等を欠いている状態を意味している。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.226

4. 証券会社等の金融商品取引業者が、顧客に対して有価証券等の金融商品の投資勧誘を行う場合、顧客の投資に対する知識と経験、資産の状況、投資の目的を十分に把握する必要がある。そのうえで、当該顧客の意向や実情に適した勧誘を行わなければならない。このことを（④適合性の原則）という。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.242、246、248

5. 工作物の設置等の権利を（⑤地上権）という。

出典：オフィシャルテキスト第 1 版 p.226